

「地下の研究現場から」第65回 よくいただくご質問、研究の紹介



モグ太くん

「モグ太」です。
今回は、よくいただく質問について解説します。

幌延深地層研究センターでは、見学会や説明会を通じて、多くの皆さまからさまざまなご質問をいただいています。当センターのホームページでは、ゆめ地創館にお越しいただいたお客様から寄せられたご質問やご意見を紹介しています。

今回は、その中でも特によく寄せられるご質問を取り上げ、わかりやすい解説とともに、それらに関連する現在の研究を紹介します。

【よくいただくご質問】

地震の影響は本当に受けないの？



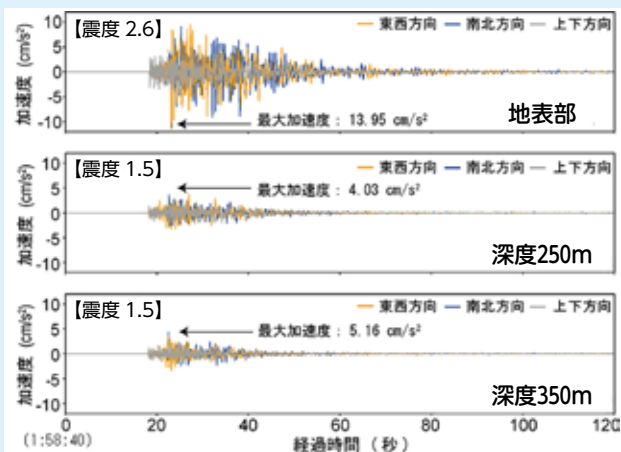
お客様

地震が発生した際、地下の揺れは地表に比べて小さく、また、廃棄体とその周囲の岩盤は一体となって揺れるため、地上に比べて影響は小さいと考えられています。

当センターでは、地表と地下施設の深度250m および深度350m に地震計を設置し、地震時の揺れを観測しています。その結果、右図のような観測データが得られています。

また、町内で地震が発生した際には、観測結果をホームページで公開しています。

【令和8年1月13日1時58分頃に発生した地震】



センターの研究は日本のどの土地でも活用できるの？



お客様

日本の地質は、大きく「堆積岩」と「結晶質岩」に分類されます。当センターでは、このうち「堆積岩」を対象として研究開発を行っています。一方、「結晶質岩」を対象とした調査研究は、岐阜県の東濃地科学センターで実施していました。そのため、原子力機構では両方の岩種を対象とした研究成果を蓄積しており、基本的には日本各地のさまざまな地質環境で、その成果を活用できると考えています。

なお、地下施設見学会では、地下深くに広がる堆積岩を間近で見学し、実際に触れることができます。ぜひご参加いただき、その迫力を体感してください。



見学会の様子

